

【台湾】

5-6 月の市場動向トピックス

- 2019 年 5 月の訪日台湾人数は、前年同月比 3.1%減の 426,500 人であった。
- 2019 年 6 月の訪日台湾人数は、前年同月比 0.9%増の 461,100 人で、6 月として過去最高を記録した。
- 5 月は、日本のゴールデンウィークの影響や航空運賃の高止まり等に伴う訪日旅行費用の高騰により、日本より安価な海外渡航先が競合となり、訪日者数は前年同月を下回った。6 月は、エバー航空ストライキや、第三国への旅行客一部流出もあったが、日本の地方都市への各種新規就航、増便、チャーター便の運航による需要喚起や前年同月における自然災害による訪日客数減の反動により前年同月を上回った。

5-6 月の主なプロモーション活動

- 5/17～20 の台北国際観光博覧会(TTE)、5/24～27 の高雄市旅行公会国際旅展(KTF)、5/31～6/3 の台中国際旅展(ATT) に VJ ブースを出展し夏の旅行シーズンに向けて日本全国各地の多彩な魅力を発信した。特に、最近台湾でトレンドのアウトドアアクティビティ(マラソン・サイクリング・登山)のパネルや Q&A 動画の作成等、日本のまだ知られていない地方の魅力を中心に情報発信を行った。



(旅行博での VJ ブースの様子)

- 6/11～13 にかけて、台湾からの訪日教育旅行の一層の拡大を目的に、台北・台中・高雄にて「訪日教育旅行現地説明会・意見交換会」を実施した。日本側の自治体 64 団体、台湾側学校関係者 3 都市計 269 名が 3 日間にわたり、教育旅行誘致に向け闊達な意見交換を行った。この中で 6/12 の台中では、4 回目となる訪日教育旅行感想文コンテスト表彰式を行い、12 名の学生を表彰した。



(意見交換会の様子)



(感想文コンテストの様子)